

町内小中学校でこんな取り組みがありました

小説「黒い雨」を劇化し 平和の心を伝える

神石小学校6年生(12名)は、総合的な学習(わが町歴史探検)で、講師に重松文宏さんを迎え、小説「黒い雨」から神石高原町と原爆のつながり、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを学びました。1人でも多くの人に原爆の恐ろしさを伝え、核兵器のない平和な世界をつくることを訴えていきたい。その方法として、子どもたちは「黒い雨」に学んだこと、小説が伝えようとしたことを劇にして「五彩の虹が奇跡を起こすなら」と題し、11月18日の学習発表会で発表しました。原爆症に苦しむ登場人物などの心情表現があり難しい内容でしたが、子どもたちは最後まで一生懸命取り組みました。劇の最後には、6年生全員で描いた小説の最後に登場する大きな乱塔池の前で、会場のお客さんに平和への願いを伝え、幕を閉じました。



出前授業でものづくりの 大切さ、素晴らしさを学ぶ

11月19日、油木中学校で町内4中学校の第1学年の生徒(62名)を対象に、油木高校(産業ビジネス科)と福山工業高校(機械科、電気科、建築科、電子機械科)の生徒による技術科の出前授業が行われました。油木高校によるフラワーコースージュ作り、工業高校による文鎮の製作、発電の実験、折り紙建築の製作、クイズ早押し回路など5講座を設け、どの講座でも高校生が優しく丁寧に指導し、中学生たちは興味を持って受講していました。参加した中学生からは「関心がなかったものづくりの魅力や楽しさを知ることができた、今後の進路の参考になった」とお礼の言葉が述べられました。今回は平成26年度の3中学校(油木・豊松・神石)統合を見込み、また油木高校との連携型中高一貫校へ向けての取り組みでもありました。



「みんなで作ろう ひろしま自慢」 発表大会で地域の宝を発表

「仲間を呼べ!心を一つに!風を巻き起こせ!命輝け!油木っ子よさこいソーラン。いざ舞い踊れ!」油木小学校の5,6年生41名が、11月24日に三原市芸術文化センター(ポポロ)で行われた「みんなで作ろう ひろしま自慢」発表大会に出演しました。この発表大会は、子どもたちの郷土愛の育成をねらいとした大会です。油木小学校が発表した「油木っ子よさこいソーラン」も、8年前の統合当時、集まった4校の児童が打ち解け合うために、また、四季折々の油木の自然の美しさを表現するために創られた地域の宝です。自慢のソーランを自信と誇りを持って堂々と演じた子どもたちに、会場からは賞賛の拍手が送られました。



☆8020表彰・お口の川柳表彰☆ —神石高原町歯科衛生連絡協議会—

11月7日の歯科保健講演会にあわせて、8020表彰を行いました。長年、歯の健康を保ち、80歳以上で20本以上自分の歯を持たれている19名の方が表彰されました。(出席者4名)



8020表彰のみなさん

3年目となった「お口の川柳」募集は、「一般の部」で26人68作品、今年度新設の「小中学生の部」で301人452作品の応募があり、審査の結果次の方々が表彰されました。(出席者11名) ※敬称略

一般の部

最優秀賞

優秀賞

胸までやせて 腹は出た 有木 江草 雅子
食べものより かめかめじゃー 油木 赤木 瀧江
お腹の子へと プレゼント 小島 山本由紀子

佳作

親にもらった 歯に感謝 高光 宮崎サナエ
ワイルドだぜー 孫の顔 有木 江草 雅子
何本あるか 歯を焼く 油木 赤木 瀧江
おいしく食べれる 歯に感謝 高光 宮崎サナエ
見えた笑った 福の孫 上豊松 内藤 毅
噛締めている そう入れ歯 油木 鈴木 四郎
100才20本で いいかもね 下豊松 角南友佳子
歯医者復活 今日初日 上野 吉永 好子

小中学生の部

最優秀賞

はやくはえてね 8ぼんめ 油木小学校1年 岩城 陸汰
むしばがないぞ イケメンだ 油木小学校5年 横山 稜

優秀賞

むしばにまけない じょうぶな歯 油木小学校5年 日高小奈津
これで虫歯は 永久死 三和中学校3年 池田 実優



小中学生の部



一般の部

きんぎんむしば いたくない 油木小学校1年 安達 未紗
すくいだいじな むしたじい 油木小学校2年 河相 優子
いつもおいしく 食べれるよ 油木小学校4年 宮崎 琢人
歯ブラシ出番 きれいにね 油木小学校6年 伊達 有希
につこりかわいい いちねんせい 三和小学校1年 福島 弘大
並べて光る 笑顔の輪 三和中学校1年 廣田 未来
だれでも出来る 健康法 三和中学校2年 重松 和孝
一生大事な 習慣だ 神石中学校2年 森重 友登